

サンショウソウ	<i>Pellionia minima</i> Makino	絶滅危惧Ⅱ類
		イラクサ科
選定理由	岐阜県では生育地が少なく一部の場所を除き個体数も少ない。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	常緑性で小型の多年草。基部は分岐して地上を這う。葉の先端は円形で葉縁は鋸歯先で反り上がる。	
生態的特徴	山地林下の陰湿な場所からやや乾いた場所まで生育している。	
分布状況	県南に点々と見られる。	
減少要因	生育地の林下の光条件の悪化が主な要因と思われる。	
保全対策	生育地の森林の適度な管理が必要である。	
特記事項	オオサンショウソウの小株と間違える場合があるので注意が必要である。	
参考文献	佐竹義輔他. 1982. 日本の野生植物. Ⅱ. P. 7. 平凡社. 東京.	

文責: 荻山恒弘